

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

妊娠遺残物に関する後方視的検討

1. 研究の対象

2014年1月1日から2024年6月30日の間に当院の産婦人科で流産や分娩となり、その後に妊娠遺残物と診断された方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2027年3月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的：流産や出産後に残った胎盤などの妊娠組織の多くは自然に排出、吸収されますが、時として性器出血の原因となることがあり、時に重症化します。これらは医療の現場ではRPOC（妊娠遺残物）と呼ばれています。これがどのような疾患であるかの全体像は明らかでなく、特に治療方針については、経過観察で改善する場合もあり、どのようなケースに手術や血管内治療を行うべきかなど不明な点が多く残されています。そこで、当院でRPOC（妊娠遺残物）と診断された方を対象に、過去の診療情報の内容を後方視的に検討し、本症の患者さんを管理する上での適切な治療方針の決定や、患者さんへの正しい情報提供の参考とするために、この研究を行うことにいたしました。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：年齢、妊娠分娩歴、既往歴（不妊症治療歴を含む）、妊娠から発症までの臨床経過、腫瘍の大きさ、腫瘍内血流の程度、分娩方法、合併症、治療内容、母体の短期予後
- ・試料：なし

5. 情報の提供先・提供方法

特にありません（該当しません）。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2380）

研究責任者 産婦人科 石本 人士

問い合わせ担当者 産婦人科 中嶋 理恵